kosei
生かされ、生きるチカラ。

「お客さまを喜ばせる」接客を、これまでも、これからもずっと。

新発田教会　清野泰子さん

1200年前、弘法大師・空海が開湯したと伝えられる新潟県の出湯温泉にある創業300余年の老舗旅館「清廣館」。清野泰子さんは19歳のときに当旅館に嫁ぎ、若女将として働き始めて以来、先代から「お客さまを喜ばせなさい」という教訓を受け継ぎ、今日まで実践している。大女将となった今でも、長男の嫁の女将、孫の若女将とともに、宿泊客の送迎や調理などに携わっている。何よりも、「お客さまの心がホッとなごみ、話してもらえるようなふれあい」を大切に、まごころのおもてなしで老舗旅館ののれんを守り続けている。

悦びを伝えよう

悦び、とくに信仰で味わう「法悦」というと、多くの人は自分とはかけ離れた崇高なことと思っています。そこで、この「法悦」を「感動」と言い換えてみてはどうでしょう。日常生活のなかで、感動を味わう経験なら、だれにもありそうです。しかも、けっして大げさなものでなくていいのです。たとえば、人に親切にされて「ああ、うれしい」と感謝する。あるいは、苦手だと思っていた人と自分に共通点があるとわかり親近感を覚える。また、本を読んで感銘を受ける、人の体験を聞いて胸を打たれるというのもよくあることでしょう。こうした感動や悦びを素直に人に伝えることが、じつは法を伝えることに直結していくのです。

「言辞柔軟にして、衆の心を悦可せしむ」――話す人も聞く人も、ともに深い悦びが得られるようなふれあいを心がけ、地域の人びとに悦びを運ぶものでありたいと思います。

立正佼成会
www.kosei-kai.or.jp　Eメール：info@kosei-kai.or.jp　〒166-8537 東京都杉並区和田2丁目11番1号　TEL.03-5341-1615